

新年のごあいさつ



昇り龍のごとく 飛躍の年に

平泉町議会議長 青木 幸保

町民皆さま方には健やかに希望の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろよりわれわれ議会活動に際しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は暮れから降り出した雪で、雪の正月のスタートでした。そして3月11日に発生した東日本大震災は本県をはじめ、宮城県、福島県など東北・関東地方を中心に甚大な被害をもたらした未曾有の大災害となりました。また巨大津波による被害、そして原発事故・計画停電という3つの危機の同時進行で、まさに戦後最大の危機が続いております。一方、被災地の人々が寒さに震えながら、乏しい食べ物や毛布を皆で分かち合い他の被災者を案ずる姿、計画停電などによる交通機関の乱れにもかかわらず、長い行列を作りながら整然と乱れることのない国民性に、世界から称賛が集まってきたのであります。われわれ日本民族は連帯の心を持ち続け、過去苦難に打ち克ってきた先人達の偉業に学びながら、危機を乗り越えたい、いや乗り越えなくてはならない。「絆」のこの一文字を深く思い考えた年でもあったと思います。そうした中、6月の平泉文化の世界遺産登録は沿岸被災地の皆さんにとっても明るい話題となりました。私事ですが何人かの友人から電話を頂き、喜びをどう表現していいの

かと思っていた矢先に「おめでとう」の言葉を掛けてもらいました。そして、ラジオから聞こえて来る幼稚園児の「私たちは小さくて何もできないけれど」と言いながら声高く精一杯歌う「空より高く」の歌声は私たちに「頑張ろう」の勇気を与えてくれました。本年は世界遺産「平泉」の新たな将来像を描く元年の年であり、議会といたしましても、行政のチェック機能のみならず、さらに提案型の議会を進め、積極的に議会改革に取り組みながら「住民と議会・行政」の信頼関係を築いていきます。昨年の住民懇談会でも多くの課題が提起されました。特に感じたことは大型事業の推進もさることながら「地域課題についてもっと推進してほしい」という要望が多く寄せられたことでした。それらの課題に向け、議員個人の英知を結集し、住民福祉向上のため全力を傾注し、政策提案能力を高め、住民のための議会として機能する議会運営を心掛け、最善の努力をして参ります。本年は辰年、昇り龍のごとく飛躍の年にしたいものです。本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新春に当たり、町民の皆さま方のご多幸と平泉の発展と復興・復旧を祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



やすらぎと文化を おりなすまちづくり

平泉町長 菅原 正義

新しい年を迎え、町民の皆さまには、新たな希望と決意を胸に新春をお迎えのことと存じます。日ごろは、町政に対しまして温かいご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。昨年3月に発生した東日本大震災は甚大な被害を各地にもたらしました。被害にあわれた皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願うものであります。また津波によって発生しました東京電力福島第一原子力発電所の事故は、私たちの生活環境に影響を及ぼす大きな出来事でありました。今後とも町民の暮らしと健康を守るためしっかりと取り組んで参ります。一方、国政に目を転じますと、野田政権発足とともに議論が活発化している社会保障と税の一体改革の問題や、TPP参加表明の動向に目が離せない1年でもありました。本町にあつては、平成23年6月に「平泉の文化遺産」が世界文化遺産に登録され、長年の念願が成就した記念すべき年でありました。登録に向けて多方面の方々にご支援をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。次第でございます。現在、多くの皆さまに本町を訪れていただいておりますが、今後におきましても世界遺産にふさわしい環境、空間、文化を兼ね備え、住む人にも町を訪れる人にも良さが感じられる「世界遺産

のまち・平泉」を目指し整備を図って参ります。また、今年には全国JRGグループ6社の協力により開催される「いわてデステイネーションキャンペーン」が予定されています。「世界遺産・平泉」と併せ「いわての魅力」を国内外に発信できる絶好の機会と捉え、県内の関係機関、団体の皆さまと共に取り組んで参りたいと考えております。今年、新平泉町総合計画の前期基本計画の2年目を迎え、計画を本格実施していくこととなります。特に、将来の町を見据えた黄金沢工業団地整備事業、道の駅整備事業等については、関係機関との連携のもとに速やかな着手を目指すものであります。昨年に引き続きまちづくり地域懇談会を開催し、本町が掲げる将来像「やすらぎと文化をおりなす千年のまちづくり」に向け、本年も取り組みを進めて参りますので、皆さまの尚一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。世界遺産登録を機に本町には今、大きな転換の時を迎えているものと感じております。今こそ町民皆さまの英知を結集し、子々孫々に誇りが持てる「まち」の建設に向け、共に歩んで参りましょう。結びに、町民皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。